

H. 電流ヒューズについて

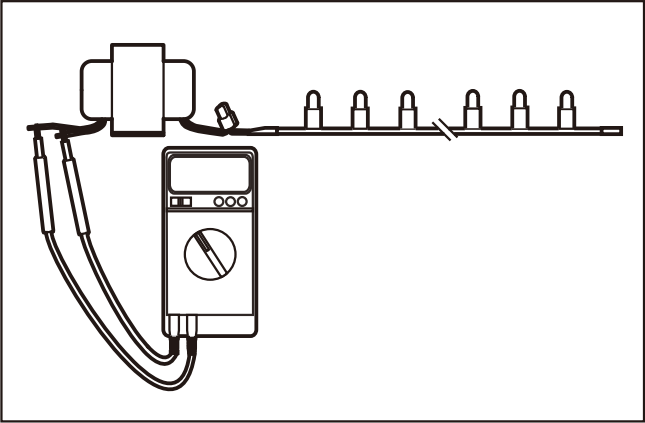


・電流ヒューズが動作した場合は、巻線トランス全体を新しいものと交換してください。
巻線トランスが故障していると発煙発火のおそれがあります。

I. 温度ヒューズについて

本トランスでは、不慮の要因により、トランスが燃焼事故を起こすことを未然に防ぐことを目的として、温度ヒューズを内蔵しています。温度ヒューズは要因を問わず、トランス内部が異常に過熱した際に溶断することで通電を遮断するものです。（消火機能は有しておりません。）
ただし温度ヒューズはその特性から、使用上、以下のような注意点があります。
1) 温度ヒューズは一度溶断すると交換および補修をおこなうことができません。
トランスの構造上、温度ヒューズは交換を行うことができませんので、万が一溶断してしまった場合には、別途新しくトランスをご購入頂く必要があります。
2) 設置環境が不適切な場合、温度ヒューズが溶断してしまうことがあります。
トランスが設置される周囲の環境温度が高い、積み重ね、すし詰め設置等により放熱が十分でない、定格容量を超える負荷を接続している等の要因でトランス本体温度が上昇し、温度ヒューズが溶断してしまうことがあります。
以上の内容をよくご理解いただき、設置ならびに施工を実施してください。
なお、下記の方法で温度ヒューズが正常か、溶断しているかの確認を行うことができます。

●温度ヒューズ切れの確認方法
（電流ヒューズが切れていないことを確認の上、以下の作業を行ってください。）
温度ヒューズ切れを調べる場合は、入力側（AC100V）の導通を確認します。
AC100V側の配線をはずした状態で、右図のようにテスターをトランスの入力線（AC100V）に当てます。導通がない場合は温度ヒューズが溶断していますので、新しいトランスに交換してください。



J. トラブルシューティング

症状	時期		考えられる原因	対処方法
点灯しない。	点灯していたのに突然点灯しなくなった。		入力側（AC100V）のヒューズ切れ。	電流ヒューズは交換せず、新しいトランスと交換してください。
			温度ヒューズ切れ	温度ヒューズは交換できませんので新しいトランスをご購入ください。
	工事終了後に電源を入れたが点灯しない。	1	入力側（AC100V）の電圧がきていない。	トランスへの入力電圧をご確認ください。
		2	入力側（AC100V）のヒューズ切れ。	電流ヒューズは交換せず、新しいトランスと交換してください。
		3	出力側（AC24V、12V）の電圧がでていない。	温度ヒューズが溶断している可能性がありますので、上記の「●温度ヒューズ切れの確認方法」にしたがってご確認ください。
		4	出力側（AC24V、12V）の電圧は出ている。	トランスの出力側から灯具までの配線をご確認ください。 トランスと灯具の間にコントローラが入っている場合は、コントローラも併せてご確認ください。 （コントローラの配線に関しては、コントローラの取説を参照。）
点灯するが暗い。			入力側の電圧が低い。	入力側の電圧をご確認頂き、定格（AC100V）に満たない場合は工事店にご相談ください。 AC100Vに満たない場合は、トランス出力側電圧も低下します。
			灯具（負荷）がトランスの最大容量を超えている。	負荷範囲のトランスに交換するか、灯具（負荷）の消費電力がトランスの最大容量以内に収まるようにご使用ください。
			電圧降下（トランス出力側）	トランス出力側～灯具間の延長コードが長い場合、線抵抗により電圧降下します。電圧降下の影響を最小限に押さえるため出力側（AC24V、12V）は電流容量の大きな電線をご使用ください。

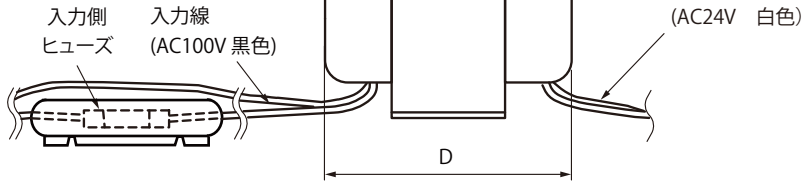
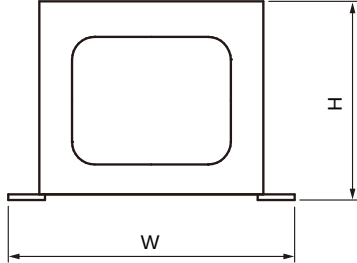
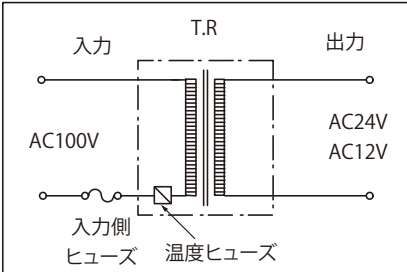
TOKISTAR® LIGHTING SYSTEMS

取扱説明書

巻線トランス **PTR/2050N**
PTRH/2050N

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
なお、本取扱説明書は大切に保管してください。

A. 寸法と仕様



●定格仕様

品番	定格入力	出力電圧	出力容量	W（幅）	D（奥行）	H（高さ）	P	入力側ヒューズ	温度ヒューズ	重量	絶縁種別
PTR/2050N PTRH/2050N	AC100V 50/60Hz	AC24V	50VA	101	86	67.5	90	1.5A	127℃	約1.5kg	A種

- 接続可能灯数は灯具に付属している取扱説明書でご確認ください。接続可能灯数が不明の場合、弊社までご請求ください。
- ご使用にあたっては、灯具の定格と電源の定格を必ずご確認ください。

B. 設置について



・本製品は屋内仕様です。水のかかる所、湿気が多く結露する所、油煙のあたる所には設置しないでください。

・周囲温度が高くなりますので、トランスを重ねたり、密集させて設置しないでください。

- ・風通しが良く、土台のしっかりした場所に設置してください。（周囲温度－10～35℃）
- ・できるだけ灯具の近くに設置してください。灯具とトランス間の距離が離れる場合は、電圧降下を考慮し容量の大きい電線で接続してください。（「E. 灯具までの距離について」を参照）
- ・複数のトランスを設置する場合や、コントローラと組み合わせて使用場合には放熱を配慮して設置してください。
- ・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）

C. 屋外への設置について

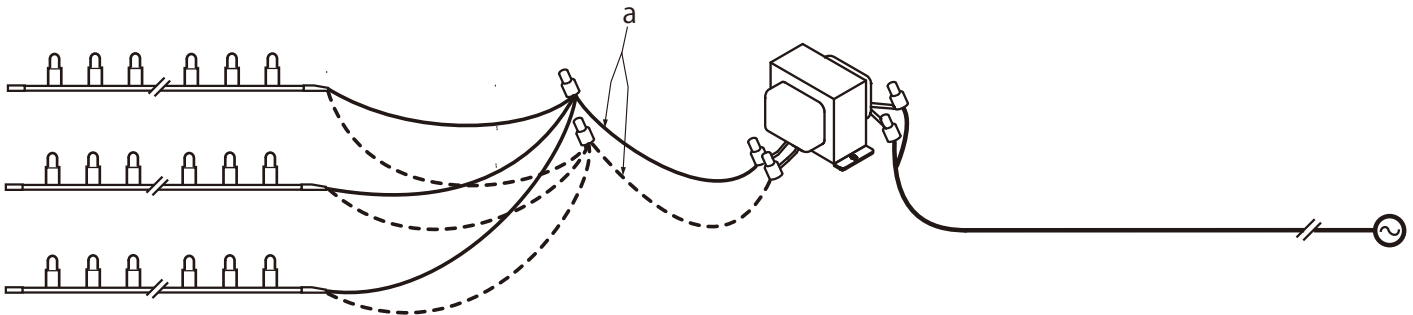
- ・本製品は屋外対応ではありません。
- ・屋外で使用される場合は市販の熱機器収納ボックスなどに収納してください。
- ・雷の影響による故障軽減のため、電源は屋内配線用の配電盤より供給してください。

本製品はトキスター照明器具（AC24V定格品）に使用する電源です。

- ・他の用途には使用しないでください。
- ・分解、改造は行わないでください。製品保証対象外となります。
- ・機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。

D. 複数の灯具を1台のトランスに接続する場合

- 複数の灯具を1台のトランスに接続する場合は、圧着端子等を使用して下図のように接続してください。
- 図中 a 部には灯具の本数分の電流が流れることになりますので、電流容量の大きな線をご使用ください。
- 各製品に付属している取扱説明書に記載された使用可能灯数の範囲内でご使用ください。
- 特にトランスと灯具本体との距離が離れる場合は、電圧降下を十分加味した上で電線の選定を行ってください。

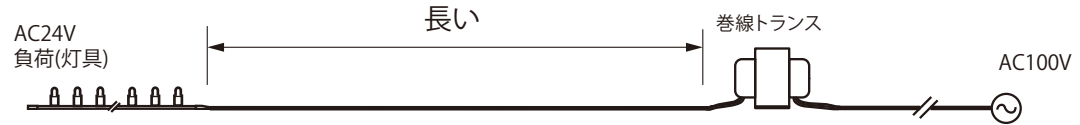


E. 灯具までの距離について

- トランスと灯具の距離が近い場合（弊社推奨）
- 電線の電圧降下が少なく、本来の明るさで点灯します。



- トランスと灯具の距離が遠い場合
- 電線の電圧降下の影響により、本来の明るさで点灯しません。やむを得ない場合、電圧降下の影響を最小限に押さえるため、出力側(AC24V側)は電流容量の大きな電線(抵抗値の低い電線)をご使用ください。



例えば、負荷容量が50W(AC24V)の場合、トランスの出力側の電流値は2.1A、入力側の電流値は0.5Aとなります。よって出力側の配線はできるだけ短くし、容量の大きな電線を使用する必要があります。

F. 配線手順

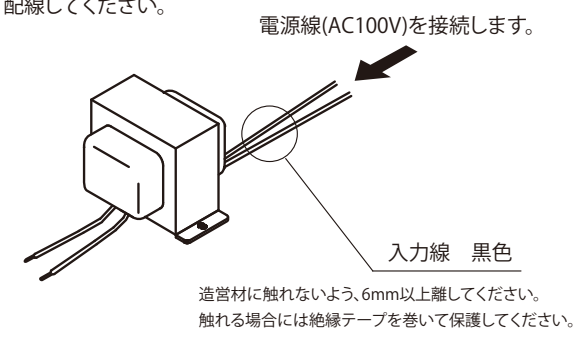
警告

- 入力側 (AC100V)と出力側(AC24V)を逆に接続しないでください。高電圧が発生し、ランプ灯具の破損によるケガの恐れがあり、大変危険です。
- 接続を確実に行ってください。不完全な接続をすると、火災の原因となり大変危険です。
- 定格容量の範囲内でご使用ください。定格容量を超える負荷を接続しますと、火災の原因となり大変危険です。

注意

- 配線工事は、必ず電源を落とした状態で作業を行ってください。
- 機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因になります。

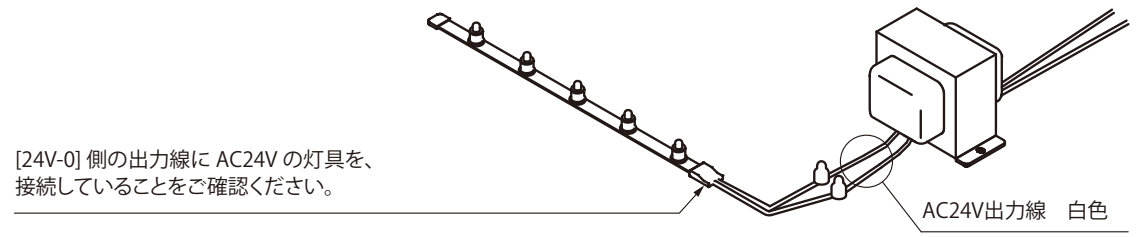
- ① 入力側 (AC100V) の配線をします。
 - 入力側のリード線を電源線に接続します。
 - 入力側のリード線は造営材に触れないよう (6mm以上離す) に施工ください。触れる場合には十分な絶縁をとるために、絶縁テープを巻いて保護してください。
 - トランスに供給される電源電圧がAC100Vであることを確認してください。
 - 電源投入時には多量の電気(突入電流)が流れるため、電源(ブレーカー)の容量に余裕をもって配線してください。
 - 電源スイッチを設ける場合は入力側に取り付けてください。



- 入力側での調光について
 - 入力側での調光制御はトランス負荷対応型の調光器でのみ可能です。
 - 一般白熱灯用調光器はご使用になれません。詳細は、「G. 調光について」をご参照ください。

- ② 出力側 (AC24V,12V) の配線をします。
 - 灯具側のリード線を出力線(AC24V)に接続します。
 - トランスー灯具間を延長する場合は、電圧降下も考慮した上で十分な容量の電線を使用し、なるべく短く配線してください。(「E. 灯具までの距離について」を参照)

- 出力側での点滅について
 - 弊社製の点滅器を使用する場合は、トランスの出力側(24V)に接続してください。詳しくは各種の取扱説明書をご覧ください。



G. 調光について

トランス負荷対応型の調光器を用いての1次側調光が可能です。必ず PTC(H)/LVTRを使用してください。その他、利用できる調光器については弊社カタログまたはホームページをご参照ください。また、調光器には最大負荷が設定されていますので、必ずご確認の上ご利用ください。

注意

- 指定の調光器以外は使用しないでください。発煙発火の原因となります。
- トランス負荷対応型の調光器であってもご使用できない場合があります。
- トランスの出力側と入力側の両側にコントローラを接続することはできません。